

# BMW0036

## E36・38・39・Z-3 エアーバック装着車用

装着前に必ずお読み下さい。

- ・理論上運転席のエアバッグ(以下 SRS)を外しても、警告灯が消灯されていればハンドル以外のエアバッグは作動するはずですが、完全な動作は保証できません。
- ・運転席 SRS を取り外すことにより、任意保険の契約内容の変更が必要になる場合があります。ご加入の保険会社にお問い合わせください。
- ・本製品は 2 ピース構造になっており、上部(アッパー)と下部(本体)はボルトで固定されています。出荷時に規定のトルクで締め付けてありますので絶対に緩めないで下さい。
- ・作業に必要な工具などはお客様でご用意ください。
- ・バッテリーを取り外すことによりオーディオやパワーウィンドウの再設定が必要になります。再設定の方法はお客様でお調べください。
- ・純正部品の取り外しは自動車メーカーの整備指示書(解説書)に従ってください。本書での外し方はあくまでも参考程度にしてください。
- ・ステアリングは重要保安部品に該当しますので、しかるべき知識や技術をお持ちの専門店へ作業をご依頼ください。

### 1、作業の前に

装着前にタイヤとステアリングを直進状態にして下さい。

### 2、バッテリーターミナル取り外し

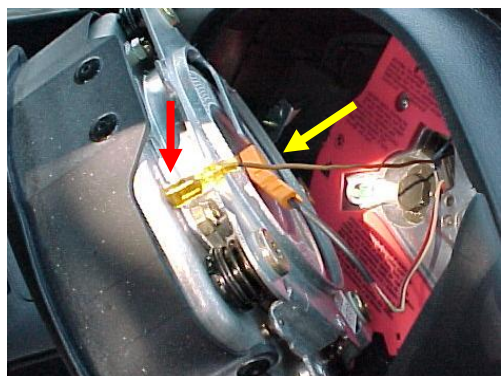
バッテリーの(-)端子を外して10分ほど放置してください。

### 3、純正ステアリングの取り外し方法



純正ステアリングホイールの裏側2ヶ所の穴からトルクス(T30)を使用してボルトを緩めて下さい。

### 4、SRSユニットの取り外し



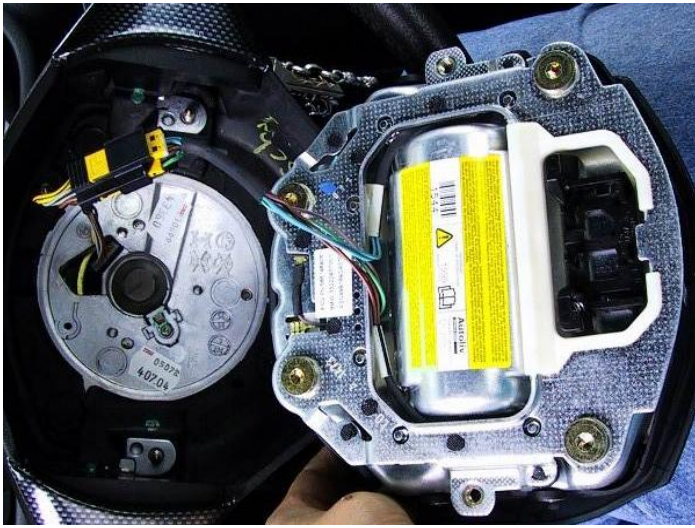
SRS本体モジュールを外し、裏側のSRSコネクタとホーン配線を外して下さい。

1999/10 以降の車はSRSコネクタが2ヶ所あります。



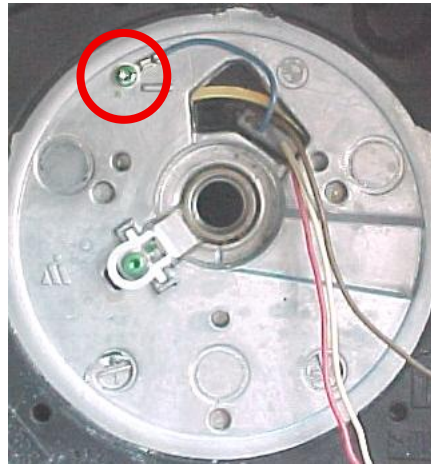
取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。

(テスター等も含む)



SRS 裏側が左図の場合は **タイプ別説明 1** へ進んで下さい。

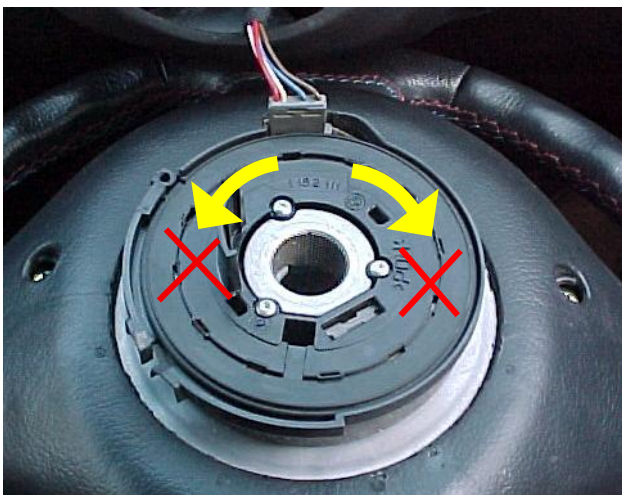
## 5、コーションプレートとアースコードの取り外し



4の続きから赤色のコーションプレートを取り外し、アースコードも外します。

アース線は車両により青色または茶色があります。トルクスレンチ (T10) で外してください。

## 6、ステアリングの取り外し

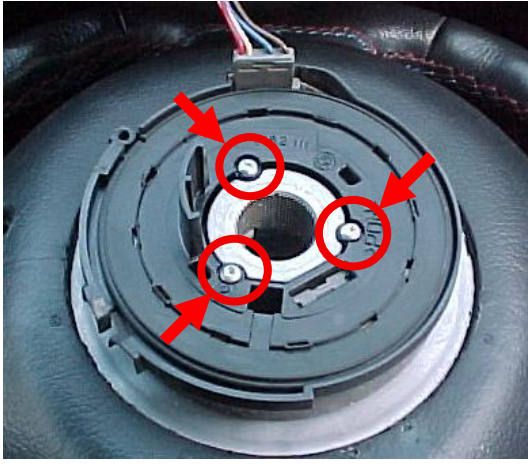


車両の整備指示書を参考にステアリングを取り外します。

ステアリングを完全に外す前にシャフトの先端にトップの目印を付けておくと、ボスを装着する際にわかりやすくなります。

この時スパイラルケーブルは絶対に回さないで下さい。左右の回転数が決まっており、回した状態で取り付けると中の配線を切断してしまいます。

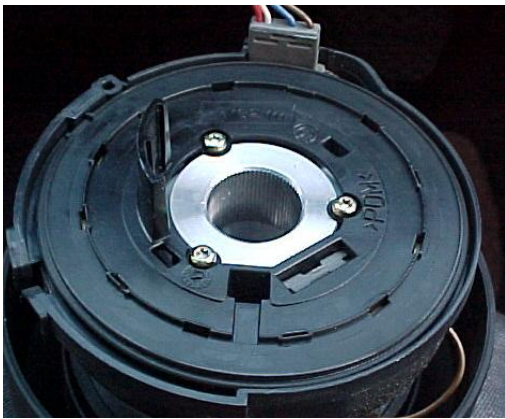
## 7、スパイラルの取り外し



スパイラルを止めている3本のボルトをトルクスレンチ(T10)で外して下さい。

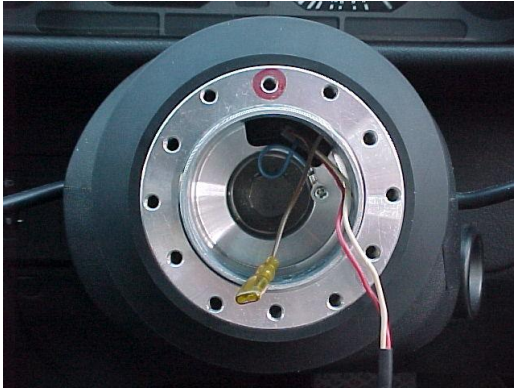
スパイラルを回さない様注意して下さい。

## 8、スパイラルの取り付け



スパイラルから出ているホーン配線をボス本体裏面の穴から中へ通し、ボスのトップマーク(・)を手前(シート側)に裏返し 7 で取り外したスパイラルをボスに取り付けして下さい。

## 9、ボスの取り付け

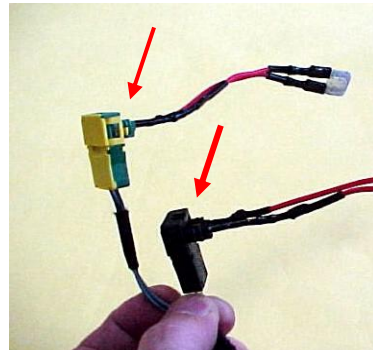


ボスのトップマーク(・)を12時側にしてボスをシャフトに挿入し、センターボルトを仮止めします。

タイプ別取説1へ進んだ場合は仮止め後 [タイプ別取説2](#)へ進んでください。

5でアース線を取り外した場合は外したアース線(青色又は茶色)を取り付けて下さい。

## 10、SRS 警告灯対策



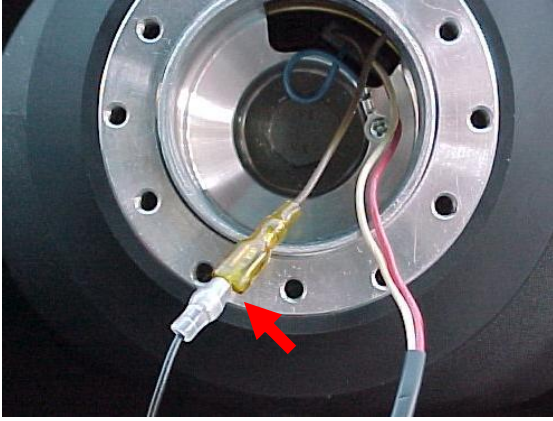
付属のキャンセラーをSRSコネクターの穴に挿入してビニールテープ等で抜けのない様に固定して下さい。キャンセラーの端子には極性はありません。

1999/10月以降の車両はSRSコネクターが2ヶ所ありますので2ヶ所とも同様の作業をして下さい。

キャンセラーを刺したとしても接触不良や車両個体差により警告灯が点灯する場合があります。弊社ではキャンセラーの対策品をご用意していますのでカスタマーセンターまでご連絡ください。

なお、対策品を使用しても車両個体差により消灯できない場合がございます。その場合は取り付けを中止してください。

## 11、配線の接続



車体側から出ているホーン線の内、茶色い線に付属の端子変換ハーネスを差します。

1999/10月以降の車はこの作業は必要ありません。

## 12、ボスの締め付け

ボスのセンター角度が良ければセンターボルトを規定トルクで締めて下さい。ボスを1山ずらしてもセンターが出ない場合は、足回りで調整して下さい。

センターボルト締め付けトルクは **30N・m** です。

締め付けが強すぎるとボスのスプライン又はシャフトのスプラインを破損します。

タイプ別取説2へ進んだ場合は **13-B** へ進んでください。

## 13、ホーンボタンとステアリングの取り付け(タイプ別取説に移動していない場合)

11 で取り付けた端子変換ハーネスをホーンボタンの端子に差し込み、必要に応じて付属のカットリングをボスの内側にはめ込んでステアリングを付属のネジセットで締め付けてください。

ネジの締め付けトルクは **676N・cm** です。

2000/4～車は茶色い線をそのままホーンボタンの端子に接続して下さい。

ステアリング取り付け後、ホーンボタンを装着して下さい。

## 13-B、ホーンボタンとステアリングの取り付け(タイプ別取説2の場合)

カプラーに接続したホーン線の内、黒線を付属のアースリングへ差し込み、赤線をホーンボタンの端子に接続して下さい。この時、必要に応じて付属のカットリングも使用しステアリングを付属のネジセットで締め付けして下さい。

ネジの締め付けトルクは **676N・cm** です。

ステアリング取り付け後、ホーンボタンを装着して下さい。

## 14、作業終了

バッテリー端子を接続して、ウインカー、ホーンのテストをしてエンジンをかけてSRSモニターランプが消灯するのを確認して下さい。

ホーン/ウインカー/直進状態等異常があった場合はバッテリー端子を外してから修正作業をして下さい。

取り外したSRSモジュールは純正ステアリングに取り付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。



# タイプ別説明 1

取り説 NO.4 から



## 5、SRSユニットの取り外し

SRS本体とスパイラルから出ている配線を繋げている矢印の  
コネクターを外して下さい。



取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。

(テスター等も含む)

取り説 NO.6 に進んで下さい。

## タイプ別説明 2

### 取り説 NO.9 から

### SRS 警告灯対策及びホーン用配線

付属のホーン一体型コネクタを、下図を参照して接続してください。接続後、12 に進んでください。

### 車両側端子番号

⑥ホーン線(-側) 茶/黒

⑤ホーン線(+側) 茶/赤

④SRS線 灰/茶

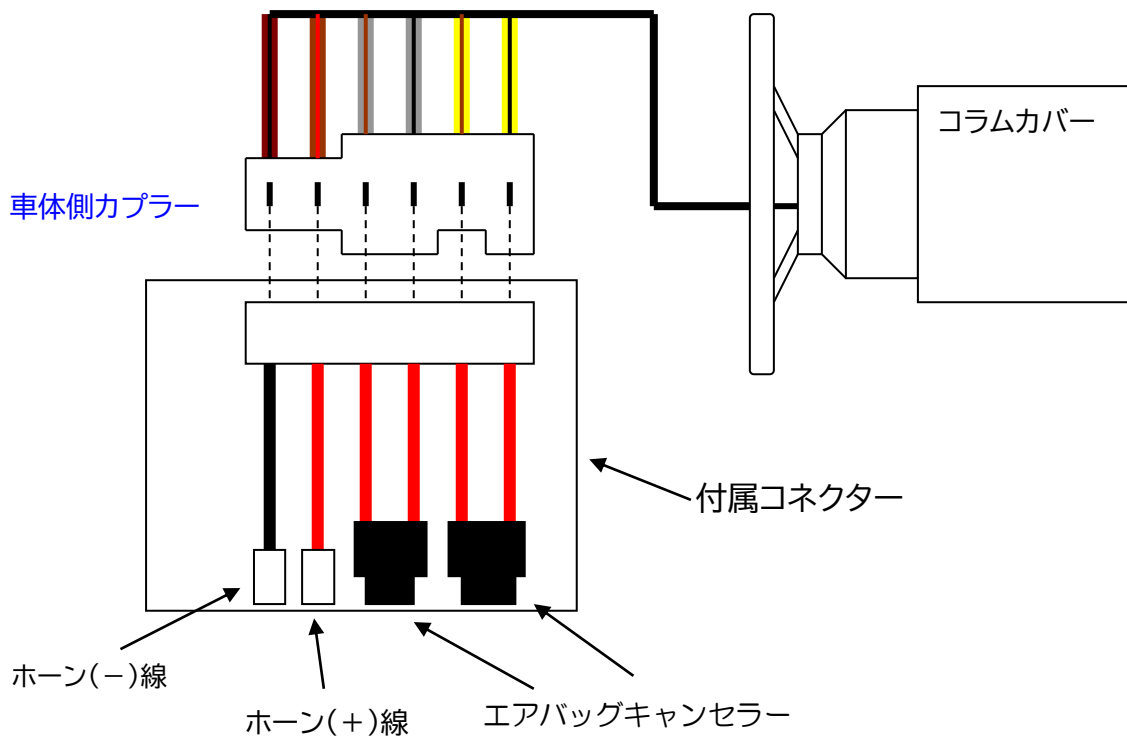
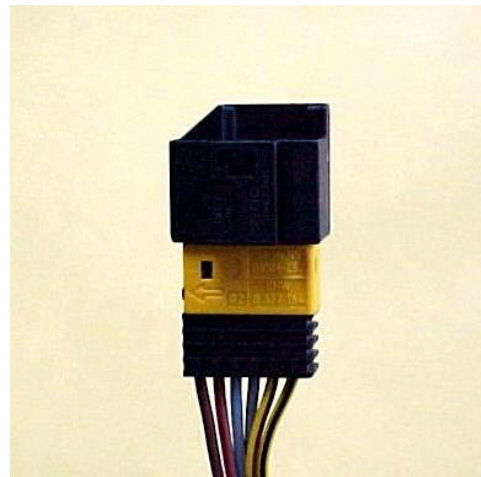
③SRS線 灰/黒

②SRS線 黄/茶

①SRS線 黄/黒

カプラーの後ろ側に番号が刻印されています。

⑥ ⑤ ④ ③ ② ①



株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email: [support@worksbell.co.jp](mailto:support@worksbell.co.jp)

URL: <http://www.worksbell.co.jp>